

栗原をひとつに

ひとづくり ものづくり ふるさとづくり
小さな日本一を目指して

Kurihara As One

合併初年度から平成19年に総合計画ができるまでの、取り組みを紹介します。

行政サービス

行政サービス水準の向上

- 税・使用料の口座振替制度を推進
- 分かりやすい庁舎案内表示
- モバイル栗原市の運用など



△分かりやすい庁舎案内看板を設置

- 窓口の利便性向上と施設サービスの向上
- ワンストップサービスのための総合窓口を設置
- 窓口業務などの受付時間・方法の見直し
- なんでも窓口設置など



△各総合支所で電話予約による時間外交付サービスを開始

市民のニーズに迅速・的確に対応する組織づくり

- 総合支所など組織の改編
- 安全安心メールなどによる緊急情報提供サービスの実施
- 消防署・所の再編計画策定など



△消防署・所の再編計画を策定



△地域審議会を開催



△いち・にの参画講座を開催



△地域コミュニティ活動を推進



△市民と市長との懇談会を開催



△各地区で行われていた産業まつりがひとつになって、「2006栗原市産業祭り らずもねえ祭りinくりはら」を開催[栗原文化会館]

市民憲章

平成19年9月1日制定

栗原市の花・木

平成20年9月1日制定

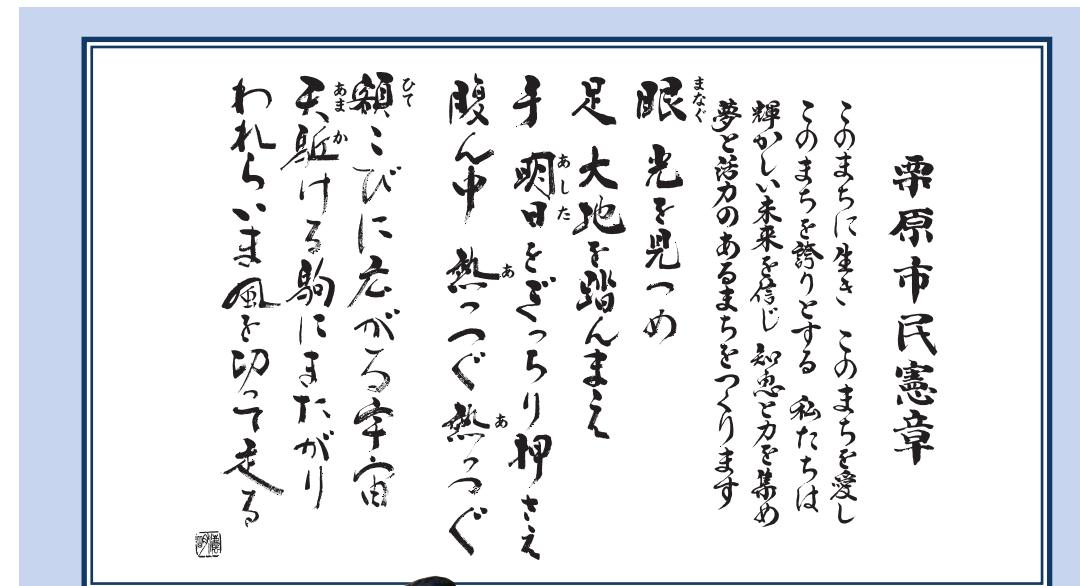
市民憲章を制定するため、市民の皆さんから意見をいただき、栗原市民憲章制定委員会で、審議を重ねて決定しました。

栗原市の「花・木」は、308人の市民の皆さんから応募があり、いただいた選定理由を踏まえ、栗原市花木等選定委員会で審議を重ねて決定しました。

栗原市民憲章

栗原市の花 ニッコウキスゲ (方言名:カンゾウ)

栗原市の木 ヤマボウシ (方言名:ヤマグワ、ヤマガ、ヤマガン)



栗原市民憲章

書道家の後藤 法明さん(筑館佐野)から寄贈された市民憲章の書

◀書を手にする久我 元教育委員長(左)と柳川 元副市長(右)



▲栗原の大自然を優雅に彩るニッコウキスゲ



▲ヤマボウシを植栽する佐藤市長と栗原ドリームアンバサダーの山崎 武司さん(右)

ニッコウキスゲは、ユリ科の多年草で、6月下旬に栗駒山の世界谷草地、原生花園一面に咲き乱れ、多くの人を魅了し親しまれています。この姿には明るさとたくましさがあり、日々発展していく市のさまを象徴するにふさわしい花です。

ヤマボウシは、ミズキ科の落葉高木で、市内の丘陵地や山地に生育します。この木は花の中央に頭状の小さい花が集まっていて、秋に一つの果実を実らせます。このさまは多くの市民が団結して一つの目標に向かおうとする指標木です。

市民歌「栗原の詩」うた

平成21年12月13日制定

市民の一一体感を創り出し、愛され親しまれるよう願いを込めて、栗原市民歌「栗原の詩」を制作し、栗原文化会館で完成発表会を行いました。
※歌詞、楽譜は64ページをご覧ください



▲作詞:かの 香織さん(右)、作曲:渡部 勝彦さん(中央)、編曲:吉川 和夫さん(左)の3人に花束贈呈

▲参加者全員で大合唱



▲宮城教育大学管弦楽団の皆さんによるロビーコンサートで来場者をお出迎え



▲宮城教育大学管弦楽団の皆さんによるロビーコンサートで来場者をお出迎え